

資料C - 1

国内で利用できる4つの第三者検証（認証）機構の概要

外部評価機関	評価基準	対象機関	費用	有効期間	備考
日本実験動物学会 (国動協・公私動協)	文科省基本指針に基づく自己点検結果を検証	文科省の基本指針の適用を受ける大学、文科省所管の法人	12.5-50.5万円 (飼養保管施設の数に比例)	5年 程度	平成29年度より第2期外部検証プログラムは公益社団法人日本実験動物学会へ移管
日本実験動物協会	飼養保管基準(環境省)等への適合性を認証	実験動物生産業者等	1. 認証審査料(会員10.8万円、賛助会員21.6万円、非会員43.2万円) 2. 別途調査員3名分の旅費	3年	認証施設は年間15施設程度
ヒューマンサイエンス振興財団	基本指針への適合性を認証	評価を希望する動物実験実施施設	1. 評価手数料: 認証評価員の旅費・経費、評価委員会での評価に係る実費 2. 認定手数料: 108万円(1,000m ² 以上)、91.8万円(1,000m ² 未満)、国公立機関; 無料、独法等; 半額	3年	年間50機関程度の認証は可能
AAALAC International	The Guide、Ag Guide、ETS123の三大指針が基礎となり、その他学協会等指針、科学論文、およびその地域の法令・規則等も含む	実験動物飼養施設・動物実験実施施設・家畜使用施設	申請料: 4,110-14,800ドル 年会費: 2,845-9,930ドル (飼養保管施設の規模に比例)	3年	唯一の国際認証機関